

あなたにとってセンターとは？

老後の楽しみがあるところ

会員…杉野 實勇さん

(聞き手…東大阪市シルバー人材センター事務局)

事務局

会報『燻』第100号発行を記念して、今回は当シルバー人材センター内では現在、最高齢で就業中の杉野實勇さんに話をお伺いします。よろしくお願ひします。

杉野

ええ、最高齢ですか。そうだったかあ(笑)よろしくお願ひします。

事務局

昭和8年生まれの89歳でいらっしやいます。長寿の秘訣はありますか？

杉野

食事ですね。とにかく辛いもん以外は何でも食べる。好き嫌いをしない。戦時中の田舎で兄弟が多い中で育ったんで、とにかく何でも食べるのが染みついとります。

事務局

戦時中の体験もお持ちなんですね。国民学校の2年から6年が戦争で、広島福山に住んでました。16、17km離れたところだったんですけど、空襲で爆弾がゴマ粒のよう



に落とされるのを見ました。夕方だったんですけど昼みたいに明るくなったのを今でもよう覚えてます。

事務局

杉野

平成13年の9月に入会されてますが、シルバーに入ろうと思っただけは何かあったのですか？もともとシルバーのことは何も知りませんでした。当時は現役を引退し、ずっと自営で働いてきたのでじっとしてたら体が鈍るんで何かしようと思っただけです。そんな時、当時瓢箪山にあったシルバーの前をたまたま通りかかって、「これなんや」と思って話を聞きました。そして入会したんです。ホンマ偶然ですね。

事務局

杉野

入会後すぐに仕事は見つかりましたか？
最初は単発のような仕事を少ししてただけでした。それが2年ほど経って、襖や障子の張替をしていた会員が辞められることになって、「やってくれんか」と声をかけられて、その仕事を引き継ぐことになりました。

事務局

杉野

なぜその仕事をしようと思ったのですか？
私はもともと畳屋で、やったことがあったので。

3月から5月の引越しの季節になると畳の交換が増えるんですけど、その時ついでに襖や障子の張替を頼まれることがあるんです。数が多いと表具屋さんやってくれるんですけど、数が少ないと表具屋さん頼みにくいみたいで、畳屋の僕に頼みたいで、畳屋の僕に頼まれたんです。ただ、僕もプロやなかったんで、奈良で襖屋をしていた息子の友達のところ半年ほど通って教えてもらいました。

事務局

杉野

仕事を長く続ける秘訣のようなものはありますか？
とにかく自分の天職やと思う事です。嫌々やっても続きませんからね。
あとはお客さんとの関係ですね。最近の発注者さんは一人住まい



杉野 事務局

現役時代の経験が活かせることはありますか？
接客の経験は生きてますね。みんながみんな良いお客さんではないですからね。頭ごなしに「仕事を依頼したってるんやないかい」と言ったお客さんもあるしね。でもね、そう言った人でも話をしている間に何とかかんとかうまいことなりまんがな。そして仕舞いは打ち解けてね、「また頼むわな」みたいなことになるからね。

事務局 杉野

杉野さんの人柄で継続発注いただいているお客さんがいらつしやることは事務局としても感じていきます。本当に感謝しています。ところで、仕事で得た収入はどういったことに使われていますか？三味線と民謡を趣味でやっているとですけど、お年寄り7、8人が集まって色々やっていると、お金が必要になってきますんで、そう言ったことに使わせてもらっています。

事務局 杉野

この年齢で趣味も楽しまれていたとは本當にうらやましい人生です。40代の頃に始めたんですけれど、それが今は年寄りの楽しみとして生きてて、認知症防止にも役立つてますわ。

事務局 杉野

現役時代の仕事とシルバーでの仕事に違いはありますか？
仕事をする上では一緒やと思っってます。お金をもらってする以上、ちよつとした仕事でもキレイにせなアカン言つつもりでやっています。あと、シルバーの仕事は奉仕の側面もありますわな。ちよつとした補修はサービスでするんですけど「そんな手間かけたら手間賃もらわなあきませんで」って昔の担当者によく言われました(笑)こつちとしては、ちよつとでもキレイになつてお客さんに「ありがとう」

事務局 杉野

言われたらそんでエエんですけどね。最後にあなたにとつてセンターとは？
最後の楽しみがあるとこですわね。仕事の楽しみ、「ありがとう」と言ってもらえる楽しみ。そんなところですね。



(就業中の杉野さん)